

拝啓 添削者様～ブログパーツで繋がる相互添削ネットワーク～

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 博士前期課程1年
井之上直也 有木隼人 江口萌



1.プロジェクト概要

近年の国際化により、外国語学習に対する需要が高まっている。本プロジェクトの目的は、外国語学習者を手助けする相互添削ネットワークの構築を行うことである。具体的には利用者が相互添削が行うことができる Web サイト「wrica(ライカ)」を作成する。本プロジェクトでは相互添削ネットワークの構築を通して、自然言語処理の資源である誤用コーパスを収集することができる。また、現在誤用コーパスを用いた自動添削機能の開発を検討中である。

2.相互添削ネットワーク

本プロジェクトでは、Webサイト「wrica」を作成する。外国語学習者はwricaを通じて相互添削ネットワークに参加できる。相互添削の基本理念は、利用者は学習言語で書いた記事を添削してもらい代わりに、他の利用者が書いた自分の母国語の記事を添削するものである。

従来のインターネットを用いて添削してもらう方法として、相互添削SNS、Language Exchangeサイト(ペンパル紹介、プロによる添削、チャット・掲示板形式による投稿添削)などを利用する方法が挙げられる。しかし、それらには以下のような問題点が挙げられる。

- ①サービスを利用するために会員登録などの手間がかかる
- ②Language Exchangeサイトなどのように個人間で外国人と連絡を取らなければならない場合、連絡を取り続けるのが困難
- ③プロによる添削サービスを利用する場合、有料の場合が多く、また時間もかかってしまう
- ④添削を行うとき、添削ツールなどが用意されておらず、訂正部分を指摘するのに手間がかかる

一方、wricaでは普段自分の使っているブログにブログパーツを貼付することで手軽に相互添削ネットワークに無料で参加することができる。wricaのサイト内に限ることなくブログを通じて多くの場で学習成果を公開することができる。直感的に添削できるインターフェイスが提供されているために容易に添削を行うことができる。また、サイトを通じて添削を行うために個人間で外国人と連絡を取る必要はない。

3.wrica

wricaは会員登録を行わずに、wricaから直接記事を投稿し、他人の記事を添削することができる。しかし、会員登録をした場合は、wricaだけではなく、自分のブログから記事を投稿することができる。自分の母国語で書かれた記事を添削するとき、利用者の興味のある分野が推薦されるために効率的に添削する記事を見つけることができる。wrica内で利用できる簡易メッセージ機能を使うことができるなどのメリットがある。記事添削の依頼方法(ブログを使う場合)は、

- ①普段使っているブログにwricaのブログパーツを貼り付ける(最初に一度のみ)
- ②添削してもらいたい部分のみを[wrica]～[/wrica]タグで囲み、後は普段通りに記事を投稿する
- ③ブログパーツのupdateボタンをクリックして、wricaに投稿する際に必要なタイトルや執筆の背景を入力し投稿ボタンを押す
- ④wricaの掲示板に記事が投稿され、添削の依頼が完了する

また、非会員・ブログを持っていない利用者は、wrica内の掲示板に直接投稿することで添削を依頼することができる。

図1にブログ画面の様子を示す。

記事の添削を行う時は、表示された文章上で添削したい位置をクリックすることで簡単に操作を行うことができる。添削の操作として「削除」「挿入」「置換」「コメント」の処理ができる。添削画面を図2に示す。

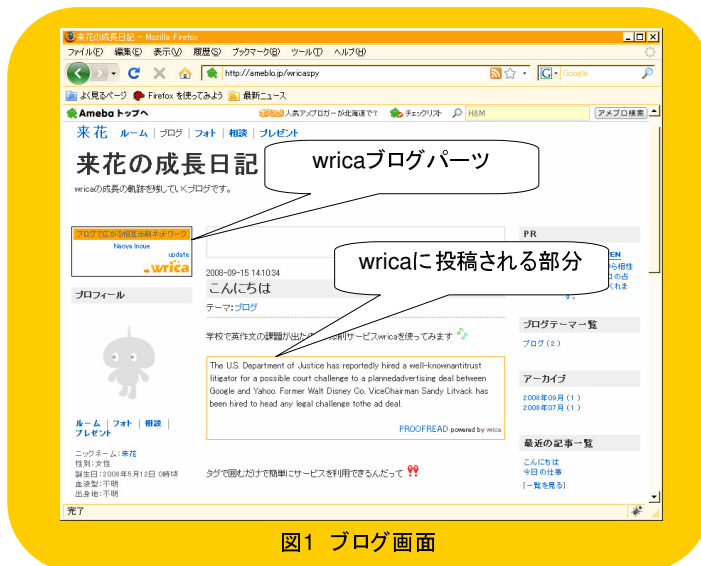


図1 ブログ画面

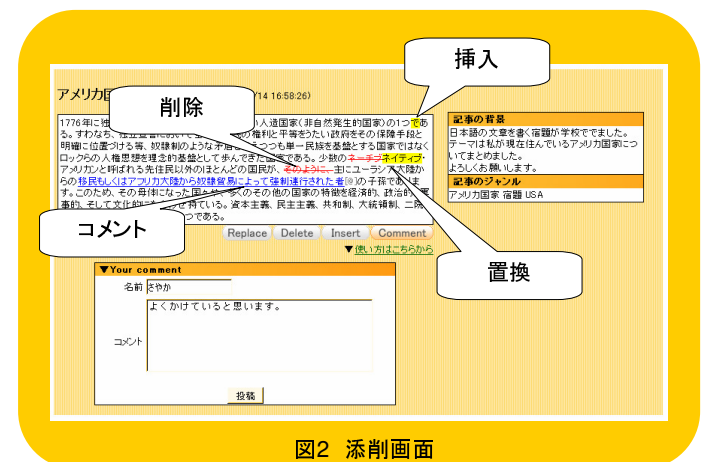


図2 添削画面

4.資源の獲得・利用

wricaを通じて誤用コーパスの獲得ができる。獲得できる誤用コーパスの例を以下に挙げる。オペレーション、オフセット、アーギュメントの組と本文をデータとして収集する予定である。

...I drink take medicine...
—(DELETE, 2, 6, -)
—(INSERT, 2, -, take)

外国語学習者に対してよくある間違い例の提示、スペルチェック、文法チェック、文脈に即した単語を用いることができているかのチェックを行うシステムの構築を目指している。

5.おわりに

現在、wricaは試用段階である。今後は一般公開を行いGUIの改善・コーパスの獲得を行う。

本プロジェクトは奈良先端科学技術大学院大学 大学院教育改革支援プログラムの支援を受け行っている。